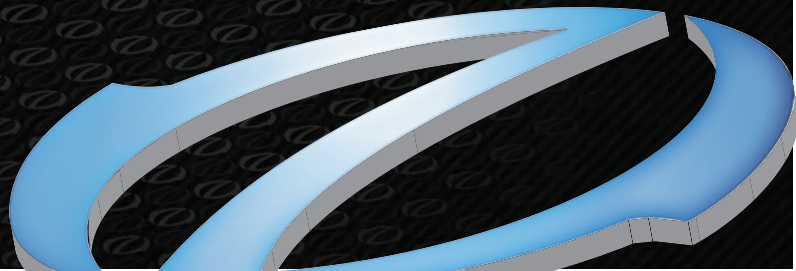




SOLOS

取扱説明書



目次

はじめに	01
警告	02
ソロスに関して	03
準備	05
シート下部ムース	05
アクセルシステム	06
レスキューパラシュート組み込み	07
装着/調節	12
ハーネスを交換する	15
装備	17
使用法・保守	19
オゾン品質保証	22
仕様	23



はじめに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグルドン、モナコ、プレヌヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしてくれています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場で生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾン、ソロスあるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページをチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを！
チームオゾン

警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでくださいー特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なグライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険(賠償責任、生命など)の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、末永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- グライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。
- 一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。

楽しむことがこのスポーツの目的であることを忘れない様に！

ソロスに関して

ソロスは技術的な特徴が満載された軽量で洗練されたリバーシブルデザインのハーネスです。飛んで快適かつ直感的であらゆるレベルのパイロットに理想的です。ソロスは、典型的な超軽量キットよりも少し多く持ち歩くハイクアンドフライ・パイロット向けに設計されています。

ハーネスから快適で設備の整ったバックパックへの変換は簡単かつ高速で、ハーネスは背中ポケットにコンパクトに収納されます。変換は簡単です:ドリンクシステムはそのまま収納しておけます。ファスナー付きヒップポケット、ファスナー付き大きいポケットとライクラ製ポケットがサイドに設けられ、担いだ状態で均等かつコンパクトになる3本のコンプレッションベルトそして効率的なウエストベルトが装備されています。

ソロスの容積と背中サポートの長さは各サイズに固有で、ハーネスの背中サポートの長さに対応しており、ハーネス時と同様バックパック時でもフィットします。

レッグベルト/シートボード複合タイプデザインにより、簡単な体重移動コントロールと快適なフィードバックで飛行中の正確なフィーリングを提供します。重量軽減が優先であればシートボードを取り外すことも可能で、外した状態でもソロスは俊敏で快適です。構造と形状は調整が直感的でクリーンでシンプルです。ソロスの背中サポート構造は、このような軽量ハーネスとしては相当なものです。リクライニングあるいは直座姿勢どちらでも快適でリラックスしてフライトを楽しむことができます。

フォームタイプのバックプロテクターはテイクオフ時にも有効で、横からの衝撃にも幾分かは効果があり耐久性があります。さらにエアバッグデザインと比較して飛行中、より滑らかで空力的になっています。

ソロスにはS、M、Lの3サイズと2つのカラーがあります。



準備

シート下部ムース

ソロスにはEN/LTF/CE認証取得のムースバッグプロテクターが装備されています。巧みに設計されており、重量と体積が小さいにもかかわらず、優れた衝撃吸収特性を提供します。シート下部には2個の別個のムースが挿入されており、ハーネスを使用する際にはこの両方が適切に装備されていなければなりません。これはレスキューパラシュートを正しく引き出すのに極めて重要です。

シート下部のプロテクションはメインの背部ポケットの底にあるファスナー付き黒色の区画内のファスナー付き灰色のポケットに挿入されています。それらのムースプロテクションはハーネスが送られた状態で既に挿入されています。

薄い方のムースが先に挿入され、シートボード直下の位置になる様に区画内の最前方に挿入されていることを確認してください。背部ポケットの底にあるファスナー付き灰色のポケットに収められています。



大きい方のムースも同様にファスナー付き灰色のポケットに挿入します。このムースは厚いほうが前方になる様に挿入します。



それはぴったりフィットする必要がありますが、ジッパーを無理せずに灰色と黒の両方のポケットを閉じることができるとは必ずです。

重要:シート下部の両ムースは、このハーネスで飛行するときには確実に定位置に挿入されていなければなりません。これはレスキューパラシュートを正しく引き出すために大変重要です。



② アクセルシステム

統合された軽量アクセルロープが標準で装備されています。アクセルシステムは、工場出荷時点で既に組み込まれていますが、交換する必要が起きた場合は以下のステップに従ってください。

サイドパネルの外側にある補強された小さなスリットにロープを通します。



ロープをロンスタンプリーに通します。

次に、シートプレートの前面にある小さな開口部と金属リングに通します。



ロープがプリーをきれいに通り、構造部材となっている全てのテープの外側に通っていることを確認します。

アクセルバーを適切な結び方で取り付けてください。飛行中そうすることが安全な状態で、バーに簡単に足がかけられシステム全体がフルアクセルまでスムーズに作動することを確認してください。

重要:アクセルロープの長さは左右同じ長さでなければなりません。空中でテンションがかかった場合に予期せずアクセルが作動してしまうのでアクセルロープの長さが短か過ぎではないことを確認してください。飛ぶ前に地上で長さと左右の対称性を再度確認してください。

レスキューパラシュートの組み込み

ソロスにはシート下部に内蔵されたレスキューコンテナが装備されており専用のインナーコンテナが付属しています。レスキューコンテナおよびインナーコンテナは3~6Lの容量のレスキューに対応しておりエンジェルSQ140や操縦可能なロガロタイプを含む最新のレスキューパラシュートを収納することができます。

警告: オゾンはレスキューパラシュートの組み込みは資格のある専門家によってなされるよう強く推奨します。疑問があるならば常に専門家のアドバイスを受けてください。

レスキューの組み込みが終了したらシミュレーターにぶら下がってレスキューの引き出しチェックを確実に実施してください。レスキューシステム全体が正しく機能するかの確認ができるだけでなく、組み込み過程をより理解する手助けとなります。

注: パラシュートは右腕でのみ引き出すことが可能です。

重要: シート下部のムースおよびレスキューコンテナ内部のフォームブロックが、このハーネスで飛行するときには確実に定位置に挿入されていなければなりません。これはレスキューパラシュートの正しい機能に大変重要です。

レスキューを収納するには、まず付属のインナーコンテナの形状と寸法に合わせてレスキューをパッキングしなければなりません。専用のソロス用インナーコンテナを使用しなければなりません。





ハーネス側のブライダルが正しく写真のようにレスキューコンテナまで導かれていることを確認します。ハーネス側のブライダルを収納するファスナーをレスキューコンテナ直近の端までスライドさせます。

注: ソロスにはブライダルが短いレスキューパラシュートのみが適しています。

ハーネス側のブライダルとレスキュー側のブライダルを適切なコネクター(オプション)を使用して接続し、リング(オプション)でブライダルを固定します。



インナーコンテナを矢印と①がレスキューコンテナのメインフラップのものがマッチングするように手際よく収納します。サスペンションラインは写真では最上部に位置するようになります。

注: レスキューコンテナ内にはベルクロで固定されてる小さなフォームブロックがあります。このブロックはレスキューパラシュートシステムが正しく機能するために定位置に固定されていなければなりません。



次にインナーコンテナのトグルが付いているフラップを点線に沿って折り曲げ、小さな矢印の頭が大きな矢印とマッチングするようにします。



インナーコンテナ側の②とレスキューコンテナ側の②がマッチングします。

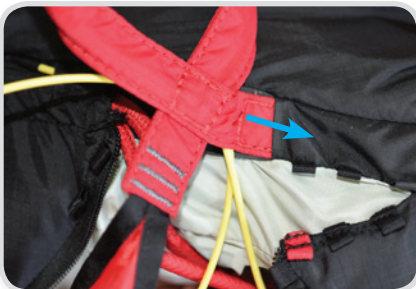


トグルの黒いタグをプライダルとハーネスの間にスライドさせて、所定の位置に保持します。



黄色の固定ピンをピンアイレットに通します。ハーネス側プライダルに近い方の固定ピンから始めます。各ピンは最初に赤いアイレットから通してゆきます。各アイレットを順番に通して行き、間違っ通し忘れをしないように注意してください。

ピンの先端は確実に固定するために終端ポケットに差し込みます。

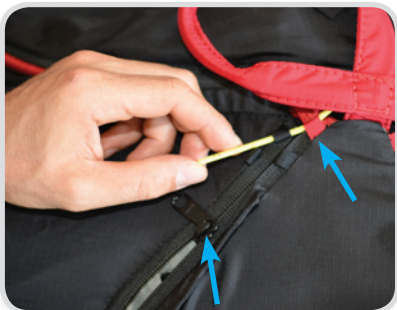


次にレスキューツールをレスキューコンテナ前方上部にあるスロットに差し込みます。これでツールは定位置に固定されます。



次に、もう一方の上側ピンをアイレットに通します。赤いアイレットに最初に通すことを忘れないでください。





両方のレスキューコンテナー閉めファスナーをできる限りレスキューブライダルに近づけます。次にコンテナーを閉めるために反対側にスライドさせます。この段階ではすっかり閉めないように。ピンアイレットが定位置に来るのに必要なだけ閉めれば足够了。

黄色のピンをアイレットに差し込みますー赤いアイレットが最初です。各サイドのアイレットをピンが正しく通って確実に固定されていることを確認してください。



次にレスキューコンテナーおよびブライダル収納閉めファスナーをすっかり閉めることができます。スライダをタグ内に収めます。レスキューコンテナー側のタグは赤で、ブライダルスリーブ側は黒です。

装着/調節

初めてフライトする前に、シミュレーターにぶら下がり、フィット感を確認しハーネスの特徴や調整に慣れるように推奨します。最もしっくりくるように肩ベルトを調整し、快適なリクライニング姿勢が取れるようにリクライニング角度を調整してください。その後、あなたに完ぺきに合ったセッティングを見出すための微調整は最初の飛行中に行うことが可能です。

肩ベルト

肩ベルトの長さは調節テープを使って調節することが出来ます。ハーネスを装着して立った姿勢で、快適にしっくりくるように調節します。シミュレーターにぶら下がって着座姿勢で肩ベルトが快適で体をしっかりとホールドしているかを確認してください。きつ過ぎても緩過ぎても良くありません。



リクライニング角度

リクライニング角度は快適なフライト姿勢が取れるように調整します。背中全体が完全にサポートされ腹筋を使わなくても快適な姿勢が取れるように正確に調整します。この調整はフライトでの快適性に大きく影響するので慎重な調整が必要です。過度に緩くすると、フライト中寝そべり過ぎた姿勢になります。



🌀 レッグベルト/チェストベルト



クリックバックルでレッグ/チェストベルトを締結します。バックルの開閉には赤いボタンを押し下げます。赤いボタンを押し下げると大きな穴を銀色の突起に合わせてからバックルをスライドさせます。そうすると赤いボタンは飛び出てバックルはロックされます。



バックルが正しくロックされている(赤いボタンは飛び出てメスバックルがすっかり引き下げられバックル内に収まっている)ことを確認してください。

バックルを外すにはまず赤いボタンを押し下げ、次にバックルを前方にスライドさせます。



レッグベルトとチェストベルトの長さはハーネス全体の安定性に影響を与えます。体重移動を最大にするにはレッグベルトおよびチェストベルトの長さを最大にするします。ロール安定を大きくするには両ベルトを短くします。あなたのフライトスタイルに最も合っかつ総合的な快適性を見つけるにはテストフライトをして調節することが重要です。



次に肩ベルト保持クリップを締結します。

ハーネスを変換する

バックパックモード

ハーネスをバックパックモードに変換するのにカラビナからグライダーを分離することやドリンクシステムを取り外す必要はありません。ドリンクシステムを使用している場合は、肩にあるアンカーポイントからチューブを取り外しておいてください。



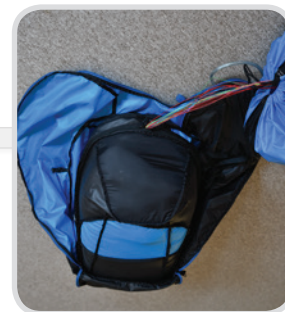
すべてのバックル、カラビナ、ライザー、および構造テープがハーネスの内側に配置されていることを確認し、パラシュートが最上部になるようにハーネスを半分に折ります。



背部ポケットのファスナーを完全に開放し、内側を外側に引き出します。そうするとハーネスを内側にすっきり収納出来るようになります。



バックパック部分のクリップを外しファスナーも開放し、内側を引き出します。



グライダーはハーネス部分の上に置き、調節ベルトで圧縮し固定します。

次にキャメルバッグをそのままにしてバックパックのファスナー閉めます。



🌀 ハーネスモード

バックパックモードからハーネスモードに戻すには、この操作を逆順に行ってください。

装備

ドリンクシステム

ソロスは革新的な水分補給システムを備えています。バックパックモードではポケットは右側に位置しています。キャメルバッグはハーネスモードに変換する際にそのままにしておくことができます。チューブは左肩の開口部を通してアンカーポイントに取り付けることができます。



肩ベルクロマウント

右肩ベルトには小型バリコ、無線機あるいはGPSトラック計器を取り付けるための軽量ベルクロマウントが装備されています。



脱着可能シートボード

重量を軽くすることが優先されるならシートボードは取り外すことが可能です。アクセスは背部ポケットの底にある黒いファスナー付きのポケットからになります。交換するときは狭い方の端が前方になります。薄いポケット内部を構造テープの間を通して挿入し、定位位置に固定するためのベルクロを接着します。



収納ポケット

ハーネスモードではメインとなる背部ポケットに加えて内部にアンカークリップのあるサイドポケットがあります。



バックパックモードでは3つのポケットがあります:ウエストベルトにアンカークリップのあるヒップポケット、大きなドリンクシステム用ポケット、そのすぐ上にあるアンカークリップのある小さめのポケット。



使用法・保守

🌀 グライダーとの接続



メインハングポイントに取り付けられたカラビナにライザーを接続します。Aライザーが外側に向くように注意してください。

カラビナを交換する場合は、適切な寸法で正しくフィットすることを確認してください。カラビナは青色の①および②の両ループに通します—メインハングポイント①およびリクライニングサポートベルト②。

このハーネスにはそれ以外にカラビナを適切に取り付ける場所はありません。



🌀 プレフライトチェック

テイクオフ前に徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- レスキューのクローズピンが正しく機能して、レスキューコンテナ周辺のファスナーが閉められているか確認
- 構造部材のテープが破損していないか確認
- カラビナに亀裂が入ったり、疲労の形跡がないか確認
- ライザーがねじれておらず正しくカラビナに取り付けられているか確認
- アクセルシステムがベルトなどに絡んだりしておらず正しく締結されているか確認
- 全てのポケットがしっかりと閉められているか確認
- レッグ/チェストベルトが正しく締結されているか確認
- 肩ベルト固定クリップが正しく締結されているか確認
- レッグベルトの再確認

☞ レスキューの開傘

もしレスキューを投げると言う不運な状況に陥ったら、確信を持って投げてください:

見て;掴んで;引き出して;投げる。

- トグルを見て、掴んで、クローズケーブルが開放されるまで引く。レスキューは右腕でのみ投げる事が可能です。
- インナーコンテナを引き出す。レスキューがコンテナからハーネスの側方へ引き出されるように外方向へ引き出すのがベストです。トグルを上方向に引っ張り上げてレスキューが引き出されない可能性があります。装備を理解し、それに合わせたテクニックを用いてください。
- レスキューをグライダー方向ではなく、思いっきり障害物のない外側のスペースに放り投げる。この際トグルも一緒に投げることを忘れないようにすることが重要です。開傘を速くするために空気の流れの方向そして回転方向と反対方向へ投げるようにしてください。
- もしレスキューを投げても開傘しない場合(エネルギーの低い緊急事態、例えばディープストールなど)はレスキューブライダルを掴んで力強く引いてください。このようにすると開傘を速める効果が期待できます。
- レスキューが開傘したら次はパラグライダーを無効にすることです。その方法としてはいくつかあります—Bラインストール、リアライザーストール、Aラインを手繰り寄せてキャンピーを抱きかかえる、ブレークを使用してストールさせる。最良のテクニックは状況によって変わります。最も重要なことは、グライダーがレスキューの動きに逆らってダウンプレーン状態にならないように完全にグライダーを無効にすることです。どの方法を選択するにしてもグライダーが回転しないように左右対称にしてください。そうしないとグライダーがレスキューに突っ込んでレスキューが正常に機能しなくなります。
- ほとんどのハーネスのレスキューブライダル取り付け位置により、レスキューを開傘すると自動的にパイロットの姿勢はPLF態勢(脚が下に向く)になります。もしそうならない場合は、着陸時の衝撃を脚で吸収できるように、どんなことをしてもこの姿勢になるようにしてください。
- 緊急事態やレスキューを開傘した状態で着陸する際は常にPLF態勢を取ってください。

☞ トーイング

ソロスはトーイング使用に適しています。トーイングブライダルはメインカラビナに取り付けなければなりません。疑問がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターに質問するかあるいはトーレリースシステム付属の取扱説明書を参照してください。

☞ 外部レスキューコンテナ

追加的レスキューコンテナ(オプション)をソロスに追加することは可能です。コンテナ及びブライダルの固定にはメインのカラビナを使用してください。

着水

着水した後はレスキュー、シートボード、バックプロテクションを取り外し乾燥させます。もし海水に着水した場合は、塩の痕跡が完全に除去されるまでハーネスおよびすべての部品を清水を使用してしっかりと清掃する必要があります。再組立てする前に、ハーネスおよびすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

重要:着水した場合、バックプロテクションおよび背部部分の浮力によってパイロットの顔面を水中に抑え込む危険性があります。着水したらすぐさま全てのベルトを開放し、ラインに絡まらないようにハーネスから離れてください。

保守

適切に保守をすればあなたのハーネスは多数のフライトおよび長年持つことでしょう。ハーネスをグリーンで耐空性を持ち続けるようにするには、以下のことに注意してください:

- 紫外線、熱、湿気に過度にさらさない。
- ハーネスを乾燥させてたたみ、涼しくて乾燥した場所に保管する。
- 決してハーネスを引きずらない。特にランディング時。
- 埃や油、その他の腐食性物質から遠ざける。
- 清掃には水と布を使用する。

検査

安全のためにすべての装備を定期的に検査することが極めて重要です。オゾンとしては通常のプレフライトチェックの他に12か月ごとの検査を推奨します。検査には縫製部、テープおよび構造的に重要なすべての部分を目視でチェックします。摩耗が最も起こりやすいカラビナ周りのテープには特に注意が必要です。

もし何らかの損傷を発見するか疑問がある場合はハーネスを専門家に検査してもらってください。

廃棄

ハーネスの寿命が来たならば、すべての金属パーツを取り外してから環境に優しい方法で廃棄してください。

オゾン品質保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっています。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、磨耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト (info@ozone.com) してください。

最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限りグランドハンドリングをし、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていけば、不必要にあなた自身を危険にさらしていることとなります。

毎年多くのパイロットがテイクオフで怪我をしています;その仲間入りをしないようにして下さい。テイクオフが最も危険に晒される瞬間です。テイクオフの練習をたくさん行ってください。いくつかのテイクオフエリアは小さくて難しく、コンディションも常に理想的ではありません。もしあなたがグランドハンドリングに長けていたなら、他の者が苦しんでいたとしても確実に安全にテイクオフすることが出来るでしょう...出来る限り練習を積んでください。怪我をする確率は減り、素晴らしいフライトを楽しむ確率は上がるでしょう。

環境に配慮し、あなたのフライトエリアを守ってください。ハーネスに寿命が来たなら、全ての金属パーツを取り除き、環境に優しい方法で廃棄してください。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合せて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

ソロスで楽しいフライトを
オゾンチーム

仕様

	S	M	L
重量 (kg)	3.1	3.3	3.7
推奨されるパイロット身長 (cm)	<175	170-185	>180

重量にはすべての標準装備品を含みます:バックプロテクション、シートボード、カラビナ、レスキューブライダル、レスキュートグルつきインナー。

素材

ハーネス外装生地

ナイロンオックスフォード 210D PU2

バックパック外装生地

ナイロンオックスフォード 210D PU2

メインテープ

ガースアンドオルフ製 25mm / テクニサングル 15

レスキューブライダル

ダイニーマ 6mm

バックル

オーストリアルパン製 HS150

カラビナ

エーデルワッス製フォラス

認証

ソロスは、最大荷重120kgでEN1651:2017およびLTF認証を取得しています。またシート下部フォームプロテクションはCRITT(フランス)によりCE認証を取得しています。

このハーネスに関するお問い合わせ先:
輸入者:ファルホークインターナショナル株式会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
Tel: 03-5451-5175
Email: info@falhawk.co.jp
URL: www.falhawk.co.jp



1258 Route de Grasse
Le Bar sur Loup
06620
France

Inspired by Nature, Driven by the Elements

WWW.FLYOZONE.COM